

## 2022春闘の位置付けと3つの重点課題を共有!

～生保労連と各組合が目線や認識を合わせ一体となって取り組んでいくために～

長引くコロナ禍の中で、生保労連は10月8日に開催した中央執行委員会において、春季方針の策定に先立ち、生保労連と各組合が目線や認識を合わせ一体となって取り組んでいくために、2022春闘の位置付けを共有するとともに、2022春闘における「3つの重点課題」を確認しました。

今回はそのポイントについて、組合員のみなさんと共有をはかりたいと思います。

### 2022春闘を「攻めの要素をより重視していく春闘」に

私たち生保労連は2022春闘において、組合員のみなさんが安心して働き続けられるよう、引き続き、組合員のみなさん一人ひとりの雇用や賃金を守る取組みに注力します。

その上で、組合員のみなさんの仕事への意欲・モチベーションや働きがいの向上をはかり、生産性の向上につなげていくため、「賃金改善」に取り組む必要があると考えています。

また、これまでに導入された、営業職員の「オンライン活動」や内勤職員の「テレワーク」に関わる各種制度・施策については、みなさんの日々の業務の継続や柔軟な働

き方の後押しとなっている一方で、さらなる活用に向けた課題が多岐にわたり浮き彫りとなっていることから、それらの課題を労使でしっかりと認識・共有しつつ「定着・改善」などに取り組み、その効果を一層発揮させていく必要があります。

このように、生保労連は2022春闘を、ピンチをチャンスに変えるべく、左下図のとおり、「引き続き『守り』」の要素をベースとしつつ、『攻め』の要素をより重視していく春闘」と位置付け、より多くの成果獲得につなげていきたいと考えています。

### 3つの課題に重点的に取り組む

このような位置付け・認識の下、私たち生保労連は、以下の「3つの重点課題」を設定し、組合員のみなさん一人ひとりが安心して前向きに仕事に取り組んでいけるよう、積極的に後押ししていきたいと考えています。

### 2022春闘の位置付け

#### 2021春闘

#### 2022春闘

##### 「守り」に軸足を置いた春闘

- 雇用・賃金を守る取組みに重点
- 社会環境の急激な変化に対応するための各種制度・施策の緊急的な「導入」に重点

##### 引き続き「守り」の要素をベースとしつつ、「攻め」の要素をより重視していく春闘

- 雇用や賃金を守った上で、賃金改善にも最大限取り組むことに重点
- 緊急的に導入された各種制度・施策の「定着・改善」をはかり、その効果を一層発揮させる取組みに重点

**重点課題①**：雇用確保や賃金関係に取り組む

**重点課題②**：営業活動・働き方の変革をサポートする各種制度・施策の定着・改善に取り組む

**重点課題③**：「生産性の高い働き方」と「生活時間の充実」の相乗効果をより意識した取組みを推進する